

令和3年度健康保険組合決算のご報告

第177回ダイハツ系連合健康保険組合会において令和3年度決算が承認されました。
前年、コロナ禍での受診控えの反動で医療費が大幅な増加となりました。
結果、3期ぶりの経常赤字となりました。



現地への出席とWEB会議をあわせて開催

健康保険決算

収入合計額 68億9,905万2千円

(予算比8,264万2千円増)

調整保険料
8,002万円

その他の収入
741万4千円

国・上部団体
からの補助金
1億7,658万5千円

健康保険料 66億3,503万3千円

支出合計額 67億8,775万2千円

(予算比2,865万8千円減)

保健事業
1億118万2千円

事務費
7,100万8千円

保険給付費 33億4,780万7千円

高齢者への負担金 31億8,142万5千円

その他の支出
8,633万円

収支差引残金(註) 1億1,130万円

経常収支差引額 ▲6,276万1千円

(註) 収支差引残金は以下の通り処分しました。

- ・1億1,115万7千円を法定準備金へ積立て
- ・14万3千円を次年度の上部団体への健保相互扶助拠出金として繰越し

令和3年度決算(各種基礎データ)

健康保険料率=10.00%		令和3年度適用状況		前年度比
事業主=5.39%	被保険者=4.61%	年間平均被保険者数	12,996人	▲36人減
		年間平均被扶養者数	13,810人	▲32人減
		平均標準報酬月額	336,488円	+4,453円増

介護保険決算

40歳以上の皆さまから納付いただいた介護保険料は、国に指定された負担額を国庫に納めています。

収入合計額 6億3,318万5千円

支出合計額 6億1,044万円

収支差引残金(註) 2,274万5千円

(註) 収支差引残金は以下のとおり処分しました。

- ・2,274万5千円全額を介護準備金へ積立て

繰り返すコロナ禍により不透明な保険料収入と医療費に加え、増え続ける高齢者への負担金で引き続き厳しい財政状況が見込まれます。事業主、組合員の皆さまの変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。